

2015-16年度 国際ロータリーテーマ

世界へのプレゼントになろう

R I 会長 K. R. “ラビ” ラビンドラン

11月はロータリー財団月間です。

国際ロータリー 第2580地区
2015-16年度 ガバナー 鈴木 喬



思いやり (奉仕) の心を持って
地域に貢献

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第44代クラブ会長 宮崎 茂夫

本日の例会
卓話 「ポリオについて」
東江戸川RC 島村様

第2108回
例会
2015. 11. 25

次回例会案内 【12月2日(水)】
全員クラブ協議会・年次総会

第2107回例会報告

(2015年11月18日) 司会 清水 高彦 SAA (会場運営委員)

点 鐘

(宮崎 茂夫 会長)

斉 唱

我等の生業
ソングリーダー
(薄井 政光 会員)

来客紹介

(宮崎 茂夫 会長)

○蓮沼 大通 様
(禅昌寺住職・卓話講師)



幹事報告

(倉内 淳 幹事)

- ロータリー財団寄付に関して
11月のレートは120円ですが為替相場は
1ドル123円台で推移しています。
12月のレートは円安になる可能性があります。
(1ドル123円、122円になる可能性があります。)
11月中への寄付振込をおすすめいたします。
(地区資金推進委員長 田村純治)
- 事務局移転
・東京池袋西RC (11月6日より)
豊島区池袋2-18-2 セラミック安藤ビル201
TEL03-3982-8488 fax03-3982-8494
- 例会臨時変更
・東村山RC
11月26日 夜間例会→夜間移動例会
(18:30点鐘)

会務報告

(宮崎 茂夫 会長)

- 地区大会 (2016年2月24日・25日) に於いて
・25日ソングリーダー養成セミナーが行なわ
れます。興味のある方は申し込み下さい。
(各クラブ3名以内)
- 地区大会人頭分担金振込依頼
(2015年12月1日会員数×9,000-)
- 「青少年奉仕情報」第14号を頂きました。
- 地区青少年交換委員会主催「懇親会」の案
内
・12月23日 17:00～ 学士会館
- ハイライトよねやま (187号・188号) を頂
きました。
- 東村山RCより、IMの礼状を頂きました。
- 第4回分区連絡会の案内
・12月3日 (木) 午後4時～ 黒茶屋
- 宜野湾RCより創立50周年の案内
・2016年1月27日 (水) 18:00～
・ラグナガーデンホテル
- 「ホームだよりいなだいら」を頂きました。
- 社協だより「こもれび」第191号を頂きま
した。

出席報告

(原田 友義 会場運営委員長)

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
33名	24名	80.00%	なし

- 事前メーカーキャップ
比留間 孝司 会員 (福生RC)
- 出席免除会員
栗原 高明 会員 桑原 伸之 会員
榎本 昭 会員



委員会報告

○第2580地区親睦ゴルフ

実行委員長 田中 伸彦

先日の地区ゴルフ大会 ご協力ありがとうございました。100名参加達成出来たのも皆様のお陰です。当日のパーティーでは、他のクラブよりお褒めの言葉を頂きました。個人戦においては、当クラブの波多野晃夫会員が優勝と素晴らしい成績でした。団体戦は9位で、優勝は葛飾RCでした。無事に終了することが出来ホッとしております。

○親睦委員長 藤野 豊

- ① クリスマス会 12/21 (月)
立川グランドホテル18:00から
今日現在で会員27名、家族8名の出席をいただいております。
お孫さん等の参加まだまだ受けまますので宜しくお願いします。
- ② 新年会の参加、宜しく御願います。
- ③ 来年の国際大会、来週〆切りますので宜しくお願いします。

これが過ぎると3日目からは旦過詰という部屋で1日中足を崩さず、痛みに耐えながら過ごします。この行を終えて初めて入門が許されるんです。

本当に聴きしに勝る荒行でした。長い坐禅の中、今までの人生を振り返ったり、これからの人生を考えるようになり人に勝る修行をしたいと思うようになるのです。禅を通して心を白紙にする場所である、頭ではなく体で感じる事が大事である。看脚下、脚下照顧の由来、法演禅師という今から900年前の方がいまして、ある夜門弟3人を連れて夜話に連れて行きました。楽しく過ごしたあと玄関から帰ろうとした時に、明かりが消えてしまい真の闇になってしまいました。

その時に弟子に向かって今の心境を述べてみよと言いました。

まず慧懃禅師が言いました「彩鳳丹宵に舞う」と言った、五色の大きな鳥が宵の赤い空にはっきりと見えると。このように私の心は暗くはなく、はっきりなんでも見えておりますと、師はなるほどなと思った。続いて清遠禅師は「鉄蛇古路に横たう」と言いました。鉄蛇とは黒蛇で古路とは昔の道で、黒蛇が草の上に横たわる状態をはっきりと見えますということ、師は大したものだと喜びました。

そして3人目の円悟禅師は「看脚下」と一言、足元を見ろと。ごくごく当たり前の事ではありますが、悟りというもの言葉を作ったり、遠くに何かを求めるものではなく、今自分の身に何かがあるのかそれが大事なんだと。

言っならば真実の自己を見失うな、そういうふうに答えた。

円悟禅師の話を聞いた法演禅師は感心するばかりであった。

そうした事から看脚下という言葉の板は道場の玄関に必ずあるものなんです。

皆さんにとっての自己の真実は何？

人間は無数の先祖が存在します。天文学的数字です。そんな先祖のおかげで今があるのです、成人するまでには200万人の世話をされると言われます。ということは私たちは無限の先祖と周囲の恵、協力で生きています。

「生きている」のではなく「生かされている」与えられている命を使い、子孫に血を繋ぎ感謝の気持ちを持って、人として歩むべき基準を固めるべきであるということ。

これからもロータリークラブとして周囲の方への奉仕を意識し、地域発展に寄与していただければと思います。

本日はありがとうございました。

卓 話

< 脚下照顧・看脚下 >

武蔵村山市 禅昌寺 住職 蓮沼 大通 様

～プロフィール～

昭和25年生まれ 東京都八王子市出身
中央大学卒業後瑞穂町の中学教師、中央大学商学部准講師を歴任
現在は武蔵村山市文化財保護審議委員会会長、武蔵村山市人権擁護委員を兼務されておられます。

テーマ 「 脚下照顧 」 「 看脚下 」

本日はお招きいただきありがとうございます。昭和58年より禅昌寺にお世話になり今年で32年になります。

地域の方の協力が有りどうにかやってまいりました。ロータリークラブとは縁があり、37年前八王子でローターアクトを10年やっておりました。

本日は脚下照顧、看脚下というお話をさせていただきます。

禅宗のお寺では必ず玄関に看脚下、脚下照顧と書かれた板が掛けられています。

看脚下、足元を見なさいといわれます。

仏教の修行の世界では玄関では靴を並べて入る等、美しい立ち振る舞いが大事であり、日本文化の象徴であるべきだという考えが伝わっております。

実は玄関という言葉は仏教用語でして、玄妙に入る関門と言われます。

玄妙とは学問所とか道場という意味で、そこに入る関所が玄関な訳です。

つまりこれから修行する襟元を正して中に入ってくださいということで、禅宗の修行道場は専門道場、僧堂と呼ばれます。

とりわけ禅の道場では入門の時が大変で、入門を許可されれば修行は終わったものと言われるくらいで、どんなことが展開されるかということ、「庭詰2日間」「旦過詰3日間」と二つの行があります。

入門時期は春と秋でこの時期に入門するため道場を訪れ玄関で庭詰を行います。

式台に腰掛け、身をよじるように頭を下げ願い所に誓約書を差し出し大きな声で「頼みましょう」と2回言い、中から「どーれ」と返事があり、身分を紹介し、入門を頼みますが必ず一回で許可はできないと言われます。どこの道場でも必ず断られますが、すんなり引き下がってはいけない、これを丸2日間懇願し許可されるまで旦過察という部屋で座禅を組んでなくてはなりません。



ニコニコBOX (松村 慎一 親睦委員)

☆蓮沼大通様(卓話講師)卓話謝礼をニコニコBOXに頂きました。

☆宮崎茂夫会長・倉内淳幹事⇒禅昌寺住職 蓮沼大通様、本日は御来会いただきありがとうございます。

卓話、宜しくお願いいたします。

☆波多野晃夫会員⇒地区懇親ゴルフ決勝大会及びクラブ親睦ゴルフのコンペでは、田中実行委員長、比留間一義ゴルフ部長をはじめ多くの会員の皆様に大変お世話になりました。お陰様で私と家内がダブルで優勝しちゃいました。素晴らしい賞品と想い出をありがとうございました。「運」とはおそろしいものですね。

☆藤野豊会員⇒3人目の孫が生まれました。今度は娘です。良かったあ～

☆田中伸彦会員⇒先日の地区親睦ゴルフでは皆様のご協力のお陰で無事終了する事ができました。ありがとうございました。

◆ 今回計43,000円 累計 511,000円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
 ◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
 ◎ 会長 宮崎茂夫 ◎ 幹事 倉内淳
 ○ 副会長 内野均 ○ 副幹事 嶋田 哲男
 □ クラブ会報委員長 後藤 正次 副委員長 新海 正人
 委員 嶋田 哲男 比留間重次 木内敬三九 網代稔

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店 2階
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 ◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 ◇ クラブ事務局
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
 Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp